

1-1. 一連の流れ

Googleアナリティクス4でのアクセス解析までの流れ。



1-2. 注意点

- ✓ 本書ではGoogleアナリティクス4の操作例をご紹介します。
Googleアナリティクス4の操作方法の詳細は、公式サイトをご参照ください。
- ✓ 本書は2022年11月現在の例で説明しております。
- ✓ Googleアナリティクス4の事前設定実施から実際のアクセス解析までには、最大48時間を要します。
- ✓ 本書に記載のない設定方法、操作方法に関してのサポートは弊社ではお受けできません。

2. 事前設定

2-1. 事前設定の一連の流れ

- ① プロパティの作成
- ② 測定IDの取得
- ③ カスタムディメンションの設定

2-2. プロパティの作成

Googleアナリティクス4のプロパティを作成していきます。
この設定により、測定ID発行の準備をすることが出来ます。

1. Googleのアカウントを用意します。
2. Googleアナリティクスにアクセスし、【 さっそく始める 】 ボタンをクリックします。

<https://marketingplatform.google.com/intl/ja/about/analytics>



- ✓ Googleへのログインをしていない場合、【 さっそく始める 】 ボタンクリック後にログインを求められるのでログインします。

3. アカウントの詳細、プロパティの設定、ビジネスの概要を設定していきます。
はじめにアカウントの詳細を設定していきます。
任意のアカウント名を入力してください。

管理 ユーザー

1 アカウントの設定

←

アカウントの詳細

アカウント名 (必須)
アカウントに複数のトラッキングIDを含めることができます。

新しいアカウント名

Google アナリティクスはビジネス向けツールです。商業、ビジネス、技術、職業に関連する目的でのみご利用いただけます。

アカウントのデータ共有設定 ⓘ
Google は、[Google 広告データ処理規約](#)に従い、Google アナリティクス サービスの[維持および保護](#)に必要な場合に限り、お客様の Google アナリティクス データを処理します。以下のデータ共有設定では、Google アナリティクスで収集したデータを、その他の目的でも Google と共有するかどうかを指定できます。

データ共有オプションでは、Google アナリティクス データの共有をより詳細に管理できます。 [詳細](#)

☐ Google のプロダクトとサービス
お客様の Google アナリティクス データは Google と共有され、Google のサービス改善に役立てられます。この設定を有効にすると、Google はユーザーの行動と期待のパターンをより深く理解して、Google サービス全体でお客様にメリットのある機能を構築できるようになります。たとえば、広告キャンペーンの作成、管理、分析に使用される Google 広告システムツールの改善などにお客様のデータが使用されます。Google が自社の広告のパーソナライズまたはターゲット設定にお客様のデータを使用することはありません。このオプションを無効にしても、プロパティにリンクされている他の Google サービスにデータが送られる可能性があります。各プロパティの [サービス間のリンク設定] で設定を確認または変更してください。

☒ モデリングのためのデータ提供とビジネス分析情報
匿名の測定データを共有すると、予測、モデル化されたデータ、ベンチマークなどに利用され、ビジネスに関するより豊富な分析情報の提供に役立てられます。収集されたすべてのデータは匿名化（お客様のプロパティを特定できる情報を削除）され、他の匿名データとまとめて処理されてからビジネスに関する分析情報が生成されます。 [例を表示](#)

☒ テクニカル サポート
サービスの提供および技術的な問題の解決のために必要と判断された場合に、Google のテクニカル サポート担当者がお客様の Google アナリティクス データとアカウントにアクセスすることを許可します。

☒ アカウント スペシャリスト
Google のセールスのスペシャリストに Google アナリティクスのデータとアカウントへのアクセス権を与えます。データにアクセスしたスペシャリストは、設定や分析の改善、Google アナリティクスや他の Google サービス全体での分析情報、最適化のヒントや最適化案などをご提案し、Google アナリティクス アカウントを最大限に活用できるようお手伝いします。

Google アナリティクスによる [データ保護](#) の仕組みをご確認ください。

You have access to 97 accounts. The maximum is 100.

Google アナリティクスを使用すると、[Google アナリティクスの利用規約にご同意いただいたものとみなされます](#)。

次へ

2 プロパティの設定

3 ビジネスの概要

4. アカウントのデータ共有設定は、お客様のご利用方法によって項目のチェックを選択してください。

アカウントのデータ共有設定 ⓘ
Google は、[Google 広告データ処理規約](#)に従い、Google アナリティクス サービスの[維持および保護](#)に必要な場合に限り、お客様の Google アナリティクス データを処理します。以下のデータ共有設定では、Google アナリティクスで収集したデータを、その他の目的でも Google と共有するかどうかを指定できます。

データ共有オプションでは、Google アナリティクス データの共有をより詳細に管理できます。 [詳細](#)

☐ Google のプロダクトとサービス
お客様の Google アナリティクス データは Google と共有され、Google のサービス改善に役立てられます。この設定を有効にすると、Google はユーザーの行動と期待のパターンをより深く理解して、Google サービス全体でお客様にメリットのある機能を構築できるようになります。たとえば、広告キャンペーンの作成、管理、分析に使用される Google 広告システムツールの改善などにお客様のデータが使用されます。Google が自社の広告のパーソナライズまたはターゲット設定にお客様のデータを使用することはありません。このオプションを無効にしても、プロパティにリンクされている他の Google サービスにデータが送られる可能性があります。各プロパティの [サービス間のリンク設定] で設定を確認または変更してください。

☒ モデリングのためのデータ提供とビジネス分析情報
匿名の測定データを共有すると、予測、モデル化されたデータ、ベンチマークなどに利用され、ビジネスに関するより豊富な分析情報の提供に役立てられます。収集されたすべてのデータは匿名化（お客様のプロパティを特定できる情報を削除）され、他の匿名データとまとめて処理されてからビジネスに関する分析情報が生成されます。 [例を表示](#)

☒ テクニカル サポート
サービスの提供および技術的な問題の解決のために必要と判断された場合に、Google のテクニカル サポート担当者がお客様の Google アナリティクス データとアカウントにアクセスすることを許可します。

☒ アカウント スペシャリスト
Google のセールスのスペシャリストに Google アナリティクスのデータとアカウントへのアクセス権を与えます。データにアクセスしたスペシャリストは、設定や分析の改善、Google アナリティクスや他の Google サービス全体での分析情報、最適化のヒントや最適化案などをご提案し、Google アナリティクス アカウントを最大限に活用できるようお手伝いします。

Google アナリティクスによる [データ保護](#) の仕組みをご確認ください。

5. 【次へ】 ボタンをクリックしてください。

6. プロパティの設定をしていきます。

任意のプロパティ名を入力してください。

プロパティの設定

プロパティの詳細

プロパティは、企業のウェブやアプリのデータを表します。アカウントには複数のプロパティを設定できます。 [詳細](#)
既存の Firebase プロジェクトで新しいプロパティを作成する場合は、 [Firebase アカウントに移動](#) してください。

Google アナリティクス 4 プロパティを作成して、ウェブやアプリのデータを測定します。

プロパティ名

レポートのタイムゾーン

アメリカ合衆国 (GMT-08:00) ロサンゼルス時間

通貨

米ドル (\$)

プロパティのこれらの詳細は、後で [管理] で編集できます

[詳細オプションを表示](#)

このアカウントでは、あと 98 個のプロパティを作成できます。

次へ

7. 【 次へ 】 ボタンをクリックしてください。

8. ビジネスの概要を設定していきます。

お客様のビジネス状況に合わせて、項目を選択してください。

ビジネスの概要

ビジネス情報

以下の質問に答えて、エクスペリエンスをカスタマイズしましょう。

業種

1 つ選択

ビジネスの規模

☐ 小規模 - 従業員数 1~10 名

☐ 中規模 - 従業員数 11~100 名

☐ 準大規模 - 従業員数 101~500 名

☐ 大規模 - 従業員数 501 名以上

Google アナリティクスのビジネスにおける利用目的をお聞かせください。該当するものをすべてを選択してください。

☐ サイトまたはアプリでの顧客エンゲージメントを測定する

☐ サイトまたはアプリの利便性を最適化する

☐ 複数のデバイスまたはプラットフォームをまたいでデータを測定する

☐ 広告費用を最適化する

☐ コンバージョン数を増やす

☐ コンテンツの収益化を測定する

☐ オンライン販売を分析する

☐ アプリのインストールを測定する

☐ 見込み顧客の発掘を測定する

☐ その他

作成 前へ

9. 【 作成 】 ボタンをクリックしてください。

2-3. 測定IDの取得

データ収集の設定をしていきます。

この設定を終えることで、測定IDを取得することが出来ます。

1. 「[3-2. プロパティの作成](#)」の手順を終えると、下記の画面が表示されます。

[ウェブ]を選択してください。



2. データ収集先のウェブサイトのURLと、任意のストリーム名を入力します。



3. 【ストリームを作成】ボタンをクリックします。

4. ウェブストリームが完成しました。

測定IDをブックに設定することで、Googleアナリティクス4でブックの閲覧履歴を収集することができます。

赤枠で囲った測定IDを控えてください。



2-4. カスタムディメンションの設定

カスタムディメンションは、独自の分析軸を設けられるGA4の機能です。

あらかじめ用意されているデフォルトのディメンションもありますが、独自の分析軸を追加するためにカスタムディメンションを作成します。

ここで作成したカスタムディメンションを利用して、レポート画面でログを確認する事ができます。

1. 画面左側のメニューから、[設定]をクリックします。



2. [カスタム定義]をクリックします。



3. ここから7つのカスタムディメンションを作成していきます。

【 カスタムディメンションを作成 】 ボタンをクリックします。



4. ディメンションを7つ作成します。

ディメンション名、範囲、説明、イベントパラメータを以下の表の通りに設定し、【 保存 】ボタンをクリックします。

これを7つ分繰り返します。

×

新しいカスタム ディメンション

保存

⚠

固有の値が多いカスタム ディメンションを登録すると、レポートに悪影響が及ぶ可能性があります。カスタム ディメンションの作成に関するベスト プラクティスを実践してください。

おすすめの方法の詳細

ディメンション名 ①

範囲 ②

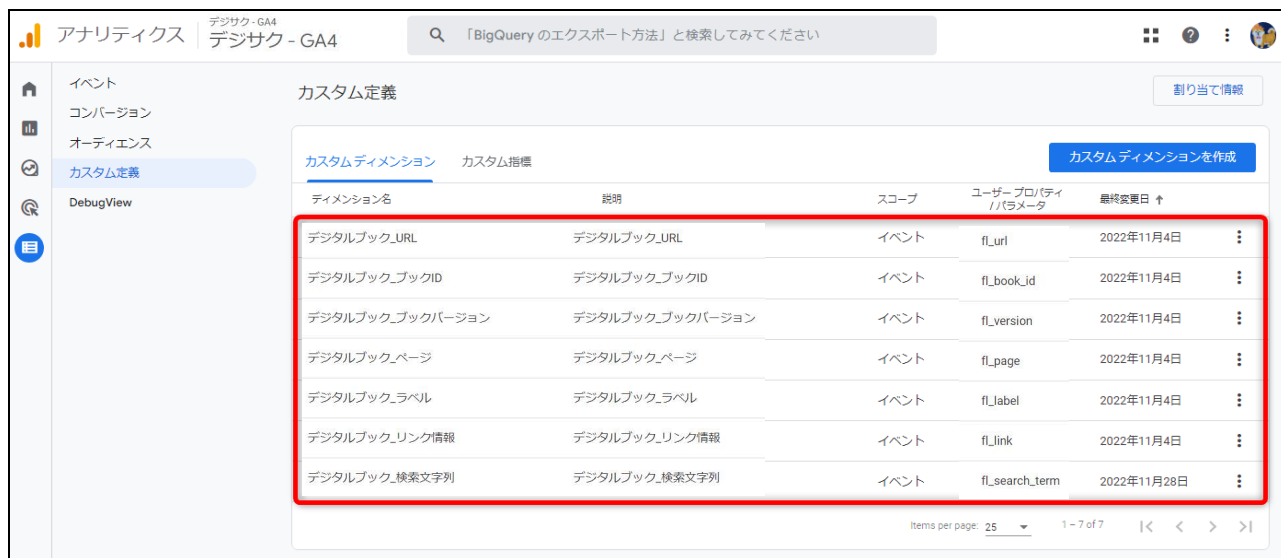
説明 ③

イベントパラメータ ④

ディメンション名	説明	範囲	イベントパラメータ
デジタルブック ブックID	デジタルブック ブックID	イベント	fl_book_id
デジタルブック ブックバージョン	デジタルブック ブックバージョン	イベント	fl_version
デジタルブック 検索文字列	デジタルブック 検索文字列	イベント	fl_search_term
デジタルブック ページ	デジタルブック ページ	イベント	fl_page
デジタルブック ラベル	デジタルブック ラベル	イベント	fl_label
デジタルブック リンク情報	デジタルブック リンク情報	イベント	fl_link
デジタルブック URL	デジタルブック URL	イベント	fl_url

- ✓ 範囲、イベントパラメータは表の通りである必要があります。
差異があった場合、正しくデータを受け取ることが出来ません。

5. 7つのカスタムディメンションが作成されたことを確認します。



The screenshot shows the Google Analytics 4 interface for a property named 'デジサク - GA4'. The left sidebar contains navigation links: イベント, コンバージョン, オーディエンス, カスタム定義 (selected), and DebugView. The main area is titled 'カスタム定義' and has two tabs: 'カスタムディメンション' (selected) and 'カスタム指標'. A blue button 'カスタムディメンションを作成' is in the top right. A table lists 7 custom dimensions, which are highlighted with a red rectangle. The table has columns: 'ディメンション名', '説明', 'スコープ', 'ユーザープロ/ディ/パラメータ', and '最終変更日 ↑'. At the bottom right, there is a pagination control showing 'Items per page: 25' and '1 - 7 of 7'.

ディメンション名	説明	スコープ	ユーザープロ/ディ/パラメータ	最終変更日 ↑
デジタルブック_URL	デジタルブック_URL	イベント	fl_url	2022年11月4日
デジタルブック_ブックID	デジタルブック_ブックID	イベント	fl_book_id	2022年11月4日
デジタルブック_ブックバージョン	デジタルブック_ブックバージョン	イベント	fl_version	2022年11月4日
デジタルブック_ページ	デジタルブック_ページ	イベント	fl_page	2022年11月4日
デジタルブック_ラベル	デジタルブック_ラベル	イベント	fl_label	2022年11月4日
デジタルブック_リンク情報	デジタルブック_リンク情報	イベント	fl_link	2022年11月4日
デジタルブック_検索文字列	デジタルブック_検索文字列	イベント	fl_search_term	2022年11月28日

3. デジタルブックの制作と公開

3-1. デジサクへ制作を依頼する

デジサクへGA4の計測IDをご共有いただき、デジタルブックの制作をご依頼ください。

デジタルブックのコンテンツIDは納品時にお伝えいたします。

3-2. WEBサーバーにアップロードし、公開する

納品されたデータをWEBサーバーにアップロードし、公開します。

掲載後、閲覧データがGoogleアナリティクス4に送られるようになります。

ただし、データが解析されレポートとして画面上に反映されるのは約24時間後(最大48時間後)になります。

4. 探索

収集されたログのアクセス解析結果を確認するために、閲覧したいデータに合わせてGoogleアナリティクス4でレポート画面（データを確認できる画面）を作成します。

コンテンツの閲覧履歴をGoogleアナリティクス4で解析すると、設定に合わせて結果がグラフで表示されます。



この設定はブックの閲覧データがGoogleアナリティクス4に収集される前でも実施可能です。

4-1. 下準備

作成したディメンションがレポート画面で使用出来るように設定します。

1. 左側のメニューから[探索]をクリックします。



2. データ探索の種類を選択します。

[自由形式] をクリックします。



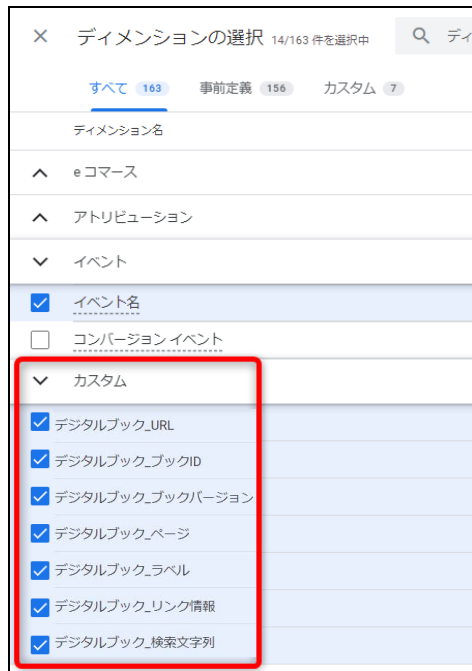
3. 自由形式の探索設定画面が開きます。

ディメンションの右側にある[+] をクリックします。

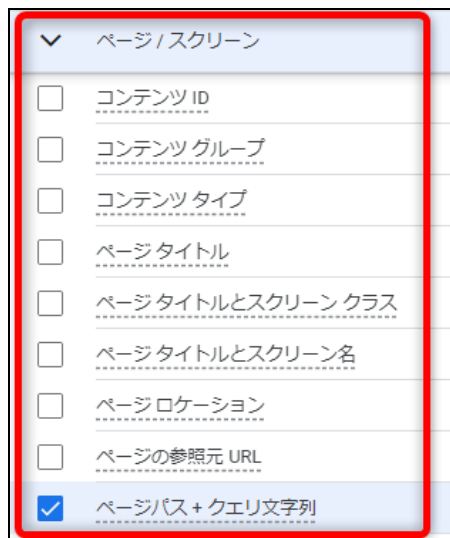


4. ディメンションの選択画面が開きます。

[カスタム]を開き、「[3-4. カスタムディメンションの設定](#)」で登録した7つのディメンションを全て選択してください。



5. [ページ / スクリーン]を開き、「ページパス+クエリ文字列」を選択します。



6. 【 インポート 】 ボタンをクリックします。

× ディメンションの選択 14/163 件を選択中 🔍 ディメンションを検索 **インポート**

すべて 163 事前定義 156 カスタム 7 [すべて折りたたむ](#) [対応するすべての行を開く](#)

ディメンション名	
^	eコマース
^	アトリビューション
∨	イベント
☒	イベント名
☐	コンバージョンイベント
∨	カスタム

7. ディメンションを見て、登録したパラメータが追加されていることを確認してください。

ディメンション +

- イベント名
- 性別
- 国
- デバイス カテゴリ
- ユーザーの最初の...
- 市区町村
- デジタルブック_URL
- デジタルブック_ブ...
- デジタルブック_ブ...
- デジタルブック_ペ...
- デジタルブック_ラ...
- デジタルブック_リ...
- デジタルブック_検...
- ページパス + クエ...

手法
自由形式

ビジュアライゼーション
  
  

セグメントの比較
セグメントをドロップする
か選択してください

行
ディメンションをドロップ
するか選択してください

最初の行 1
表示する行数 10
ネストされた行 No

4-2. 探索作成例

目的別に探索の作成方法の例を記載します。

4-2-1. 検索されたワードを一覧表示する

検索されたワードを一覧表示するため、自由形式の探索で各種設定を行っていきます。

イベント名		デジタルブック検索文字列	↓ イベント数
合計		検索されたワード	4 全体の 100%
			ワードが検索された回数
1	fl_search	望遠鏡	2
2	fl_search	機械	2

1. 探索用の新規タブを作成します。

初めての探索の場合この手順は不要です。

赤枠の[+]>[自由形式]をクリックします。



2. 一覧の行を設定します。

画面左側の[タブの設定]>[行]>[ディメンションをドロップするか選択してください]をクリックして、「イベント名」と「デジタルブック 検索文字列」を追加しま



3. 一覧で使用する値を設定します。

画面左側の[タブの設定]>[値]に「イベント数」を追加します。



4. フィルタの設定をします。

画面左側の[タブの設定]>[フィルタ]に「デジタルブック ブックID」と「イベント名」を追加します。



5. 「デジタルブック ブックID」フィルタに詳細な設定をします。

先程追加した「デジタルブック ブックID」をクリックし、フィルタの選択肢から「次と完全一致」を選択します。

アクセス解析を実施したいブックのブックIDを入力します。

入力後、[適用]をクリックします。



✓ このブックIDは調べたいブックによって変えることができます。

6. 「イベント名」 フィルタに詳細な設定をします。

先程追加した「イベント名」をクリックし、フィルタの選択肢から「次と完全一致」を選択します。

今回は検索されたワードを解析する為、イベント名「fl_search」を入力します。

入力後、[適用]をクリックします。



フィルタ

イベント名

フィルタ

次と完全一致 ▼

fl_search

キャンセル 適用

7. 上記までの手順で設定は完了です。

実際にデータが収集されると、集計結果が表示されます。

4-2-2. 各ページのアクセス数を一覧表示する

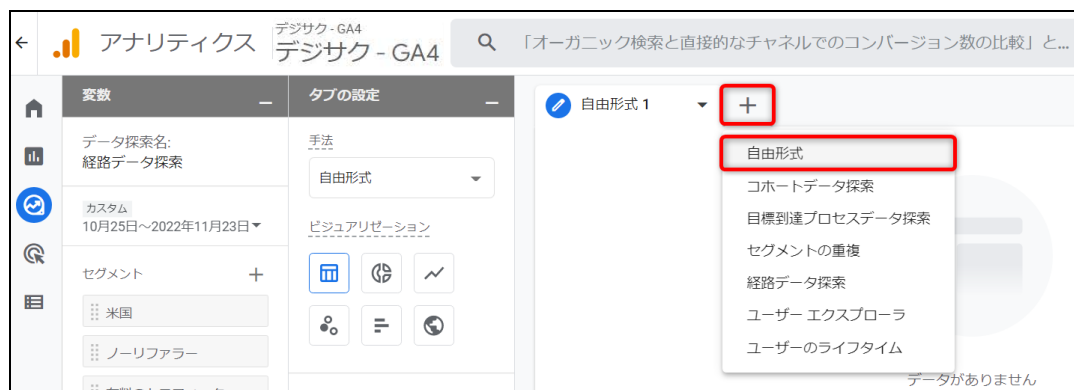
各ページのアクセス数を一覧表示するため、自由形式の探索で各種設定を行っていきます。

イベント名		ページパス + クエリ文字列	↓ イベント数
合計		アクセスされたページのページ数情報	27 全体の 100.0%
1	page_view	/book_b_flipper/#page=1	7
2	page_view	/book_b_flipper/#page=5	5
3	page_view	/book_b_flipper/	3
4	page_view	/book_b_flipper/#page=13	2
5	page_view	/book_b_flipper/#page=15	2
6	page_view	/book_b_flipper/#page=3	2
7	page_view	/book_b_flipper/#page=7	2
8	page_view	/book_b_flipper/#page=9	2
9	page_view	/book_b_flipper/#page=11	1
10	page_view	/book_b_flipper/#page=16	1

1. 探索用の新規タブを作成します。

初めての探索の場合この手順は不要です。

赤枠の[+]>[自由形式]をクリックします。



2. 一覧の行を設定します。

画面左側の[タブの設定]>[行]>[ディメンションをドロップするか選択してください]をクリックして、「イベント名」と「ページパス+クエリ文字列」を追加します。



3. 一覧で使用する値を設定します。

画面左側の[タブの設定]>[値]に「イベント数」を追加します。



4. フィルタの設定をします。

画面左側の[タブの設定]>[フィルタ]に「デジタルブック ブックID」と「イベント名」を追加します。



5. 「デジタルブック ブックID」 フィルタに詳細な設定をします。

先程追加した「デジタルブック ブックID」をクリックし、フィルタの選択肢から「次と完全一致」を選択します。

アクセス解析を実施したいブックのブックIDを入力します。

入力後、[適用]をクリックします。

A screenshot of a dialog box titled 'デジタルブック ブックID' (Digital Book Book ID). Inside the dialog, there is a section labeled 'フィルタ' (Filter) with a dropdown menu set to '次と完全一致' (Next and completely consistent). Below the dropdown is a text input field containing 'UFL-'. At the bottom of the dialog are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '適用' (Apply).

✓ このブックIDは調べたいブックによって変えることができます。

6. 「イベント名」 フィルタに詳細な設定をします。

先程追加した「イベント名」をクリックし、フィルタの選択肢から「次と完全一致」を選択します。

今回はページのアクセス数を解析する為、イベント名「page_view」を入力します。

入力後、[適用]をクリックします。

A screenshot of a dialog box titled 'イベント名' (Event Name). Inside the dialog, there is a section labeled 'フィルタ' (Filter) with a dropdown menu set to '次と完全一致' (Next and completely consistent). Below the dropdown is a text input field containing 'page_view'. At the bottom of the dialog are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '適用' (Apply).

7. 上記までの手順で設定は完了です。

実際にデータが収集されると、集計結果が表示されます。

4-2-3. クリックされたリンクを一覧表示する

ブックのページ内に設定されているリンクが何回クリックされたか一覧表示するため、自由形式の探索で各種設定を行っていきます。

イベント名	デジタルブック,リンク	イベント数
合計	押下されたリンクの詳細	2 全体の 100.0% リンクが押下された回数
1	fl_link p=4,id=17,target=gotoTargetPage,url=99	1
2	fl_link p=4,id=23,target=gotoTargetPage,url=110	1

✓ 「クリックされたリンクの詳細」の見方

1. 4ページのid17,99ページへ移動するリンクが押下された
2. 4ページのid23, 110ページへ移動するリンクが押下された

1. 探索用の新規タブを作成します。

初めての探索の場合この手順は不要です。

赤枠の[+]>[自由形式]をクリックします。



2. 一覧の行を設定します。

画面左側の[タブの設定]>[行]>[ディメンションをドロップするか選択してください]をクリックして、「イベント名」と「デジタルブックリンク情報」を追加します。



3. 一覧で使用する値を設定します。

画面左側の[タブの設定]>[値]に「イベント数」を追加します。



4. フィルタの設定をします。

画面左側の[タブの設定]>[フィルタ]に「デジタルブック ブックID」と「イベント名」を追加します。



5. 「デジタルブック ブックID」フィルタに詳細な設定をします。

先程追加した「デジタルブック ブックID」をクリックし、フィルタの選択肢から「次と完全一致」を選択します。

アクセス解析を実施したいブックのブックIDを入力します。

入力後、[適用]をクリックします。



✓ このブックIDは調べたいブックによって変えることができます。

6. 「イベント名」 フィルタに詳細な設定をします。

先程追加した「イベント名」をクリックし、フィルタの選択肢から「次と完全一致」を選択します。

今回は押下されたリンク情報を解析する為、イベント名「fl_link」を入力します。

入力後、[適用]をクリックします。



The image shows a dialog box titled 'イベント名' (Event Name). Inside, there is a section labeled 'フィルタ' (Filter) with a dropdown menu currently set to '次と完全一致' (Next and completely match). Below this, there is a text input field containing 'fl_link'. At the bottom of the dialog, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '適用' (Apply).

7. 上記までの手順で設定は完了です。

実際にデータが収集されると、集計結果が表示されます。

4-2-4. ブックのアクセス回数を表示する

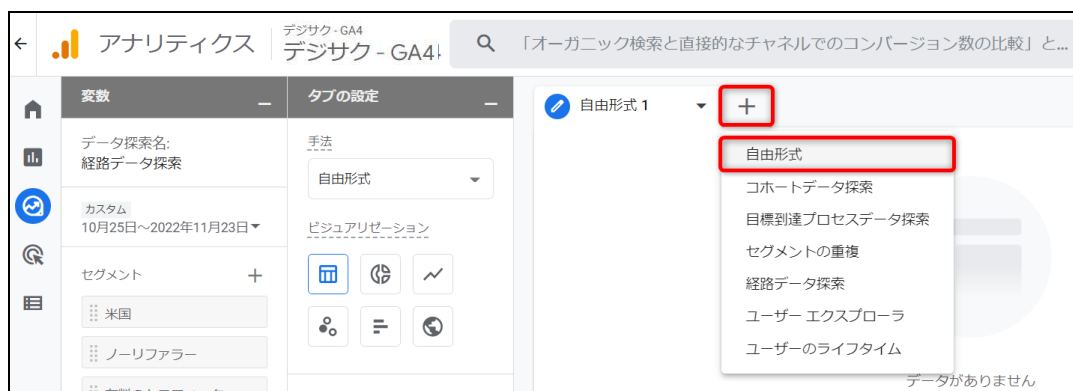
ブックのアクセス回数を一覧表示するため、自由形式の探索で各種設定を行っていきます。

イベント名		FLIPPER ログ格納URL	イベント数
合計		ブックのURL	2 全体の 100.0%
1	fl_access	https://	2

1. 探索用の新規タブを作成します。

初めての探索の場合この手順は不要です。

赤枠の[+]>[自由形式]をクリックします。



2. 一覧の行を設定します。

画面左側の[タブの設定]>[行]>[ディメンションをドロップするか選択してください]をクリックして、「イベント名」と「デジタルブック URL」を追加します。



3. 一覧で使用する値を設定します。

画面左側の[タブの設定]>[値]に「イベント数」を追加します。



4. フィルタの設定をします。

画面左側の[タブの設定]>[フィルタ]に「デジタルブック ブックID」と「イベント名」を追加します。



5. 「デジタルブック ブックID」フィルタに詳細な設定をします。

先程追加した「デジタルブック ブックID」をクリックし、フィルタの選択肢から「次と完全一致」を選択します。

アクセス解析を実施したいブックのブックIDを入力します。

入力後、[適用]をクリックします。



✓ このブックIDは調べたいブックによって変えることができます。

6. 「イベント名」 フィルタに詳細な設定をします。

先程追加した「イベント名」をクリックし、フィルタの選択肢から「次と完全一致」を選択します。

今回はブックのアクセス回数を解析する為、イベント名「fl_access」を入力します。

入力後、[適用]をクリックします。



イベント名

フィルタ

次と完全一致 ▼

fl_access

キャンセル 適用

7. 上記までの手順で設定は完了です。

実際にデータが収集されると、集計結果が表示されます。

4-2-5. どのテキスト目次がクリックされたかを表示する

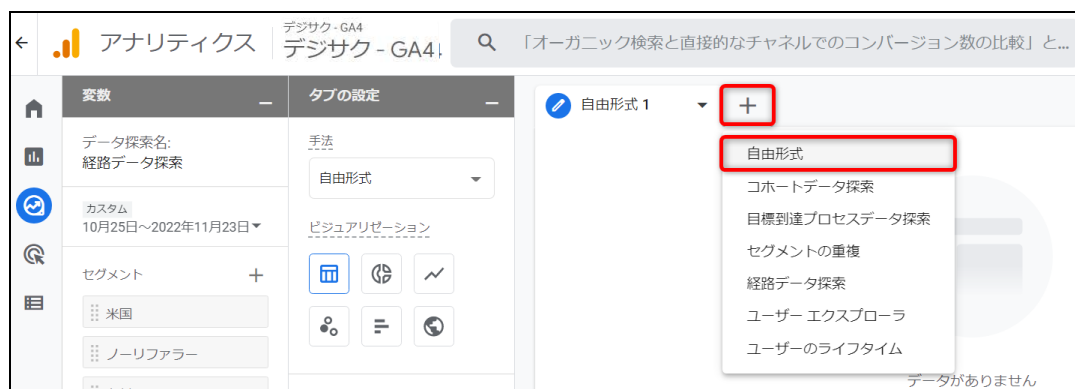
クリックされたテキスト目次を一覧表示するため、自由形式の探索で各種設定を行っていきます。

イベント名	デジタルブックラベル	↓ イベント数
合計	テキスト目次	クリックされた回数 全体の 100.0%
1	fl_index_t	モダンローズの誕生
2	fl_index_t	文字と速力と文学1
3	fl_index_t	文字と速力と文学2

1. 探索用の新規タブを作成します。

初めての探索の場合この手順は不要です。

赤枠の[+]>[自由形式]をクリックします。



2. 一覧の行を設定します。

画面左側の[タブの設定]>[行]>[デイメンションをドロップするか選択してください]をクリックして、「イベント名」と「デジタルブックラベル」を追加します。



3. 一覧で使用する値を設定します。

画面左側の[タブの設定]>[値]に「イベント数」を追加します。



4. フィルタの設定をします。

画面左側の[タブの設定]>[フィルタ]に「デジタルブック ブックID」と「イベント名」を追加します。



5. 「デジタルブック ブックID」フィルタに詳細な設定をします。

先程追加した「デジタルブック ブックID」をクリックし、フィルタの選択肢から「次と完全一致」を選択します。

アクセス解析を実施したいブックのブックIDを入力します。

入力後、[適用]をクリックします。



✓ このブックIDは調べたいブックによって変えることができます。

6. 「イベント名」 フィルタに詳細な設定をします。

先程追加した「イベント名」をクリックし、フィルタの選択肢から「次と完全一致」を選択します。

今回はテキスト目次のクリック回数を解析する為、イベント名「fl_index_t」を入力します。

入力後、[適用]をクリックします。



The image shows a dialog box titled 'イベント名' (Event Name). Inside, there is a section labeled 'フィルタ' (Filter) with a dropdown menu currently set to '次と完全一致' (Next and completely consistent). Below the dropdown is a text input field containing 'fl_index_t'. At the bottom of the dialog, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '適用' (Apply).

7. 上記までの手順で設定は完了です。

実際にデータが収集されると、集計結果が表示されます。

4-2-6. どのサムネイル目次がクリックされたかを表示する

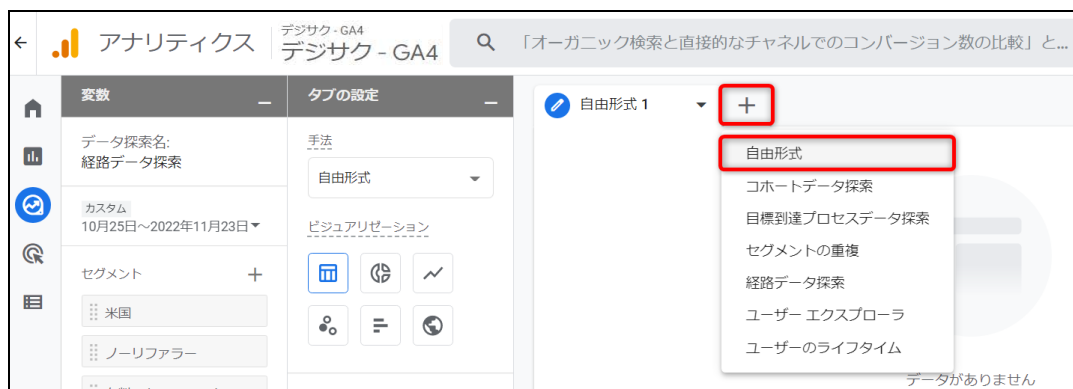
クリックされたサムネイル目次のページを一覧表示するため、自由形式の探索で各種設定を行っています。

イベント名デジタルブックページ		↓ イベント数
合計 サムネイル目次のページ		33 全体の 100%
fl_index_v	5	5
fl_index_v	3	4
fl_index_v	4	4
fl_index_v	2	3
fl_index_v	7	3
fl_index_v	16	2
fl_index_v	9	2
fl_index_v	1	1
fl_index_v	10	1

1. 探索用の新規タブを作成します。

初めての探索の場合この手順は不要です。

赤枠の[+]>[自由形式]をクリックします。



2. 一覧の行を設定します。

画面左側の[タブの設定]>[行]>[デイメンションをドロップするか選択してください]をクリックして、「イベント名」と「デジタルブックページ」を追加します。



3. 一覧で使用する値を設定します。

画面左側の[タブの設定]>[値]に「イベント数」を追加します。



4. フィルタの設定をします。

画面左側の[タブの設定]>[フィルタ]に「デジタルブック ブックID」と「イベント名」を追加します。



5. 「デジタルブック ブックID」フィルタに詳細な設定をします。

先程追加した「デジタルブック ブックID」をクリックし、フィルタの選択肢から「次と完全一致」を選択します。

アクセス解析を実施したいブックのブックIDを入力します。

入力後、[適用]をクリックします。

✓ このブックIDは調べたいブックによって変えることができます。

6. 「イベント名」フィルタに詳細な設定をします。

先程追加した「イベント名」をクリックし、フィルタの選択肢から「次と完全一致」を選択します。

今回はサムネイル目次のページのクリック回数を解析する為、イベント名「fl_index_v」を入力します。

入力後、[適用]をクリックします。



7. 上記までの手順で設定は完了です。

実際にデータが収集されると、集計結果が表示されます。